

働きたいママのための

初めての保育施設選びサポートガイド



このリーフレットは、実際に子どもを保育所に預けて働いている先輩ママアドバイザーが、自分たちの経験をもとにした保育施設選びのためのガイドです。

👤 子ども・子育て支援新制度の支給認定について





保育所、認定こども園、幼稚園を利用するためには、【支給認定申請】と【入所申込】の手続きが必要となります。

■支給認定区分を知ろう

支給認定区分は、以下の3つです。まずはご自身がどの区分に該当するかを確認してみましょう。

区分	＜どんな人が該当するの？＞	＜利用できる施設＞	＜※保育の必要な事由＞ (京都市の場合)
1号認定	<ul style="list-style-type: none">●子どもが満3歳以上●幼稚園に通わせたい	<ul style="list-style-type: none">◎幼稚園◎認定こども園	【就労】月64時間以上 【求職活動】(90日以内に就職を決める必要あり) 【就学】職業訓練含む
2号認定	<ul style="list-style-type: none">●子どもが満3歳以上●保育の必要な事由(※)に該当	<ul style="list-style-type: none">◎保育所(園)◎認定こども園	【その他】 妊娠・出産、疾病・障害、 親族の介護・看護、 災害復旧、育児休業中の 継続理由、その他市町村 が認める場合
3号認定	<ul style="list-style-type: none">●子どもが満3歳未満●保育の必要な事由(※)に該当	<ul style="list-style-type: none">◎保育所(園)◎認定こども園◎地域型保育	

■各施設の違いつて？

施設名	対象年齢	特徴
 幼稚園	3～5歳	幼児期の教育を行う施設 働くママは、預かり保育の時間や実施日の確認を！ ＜保育時間＞ 4時間(標準) ＜利用できる保護者＞ 制限なし
 認定こども園	0～5歳	教育と保育が一体化した施設 3歳以降は、就業状況が変わっても継続して利用できるメリットも ＜保育時間＞＜利用できる保護者＞ 認定区分によって、幼稚園と保育所(園)に準ずる
 保育所(園)	0～5歳	就労など家庭で保育のできない場合に、保護者に代わって保育を行う施設 ＜保育時間＞保育短時間 : 8時間 保育標準時間 : 11時間 ＜利用できる保護者＞ 制限あり
 地域型保育	0～2歳	待機児童の多い0～2歳児を対象とした、少人数の保育施設 3歳以降の受け皿となる提携施設がどんな施設かも要チェック！ ＜保育時間＞＜利用できる保護者＞ 保育所(園)に準ずる
家庭的保育(保育ママ)	→定員5人以下を対象に、家庭的な保育を行う施設	
小規模保育	→定員6～19人で家庭的保育に近い雰囲気での保育を実施する施設	
事業所内保育	→事業所の保育施設などで、地域の子どもも受け入れている施設	
居宅訪問型保育	→個別のケアが必要な場合などに、保護者の自宅で保育を実施	

👤 “働きたいママのための” 保活スケジュール

保育施設探して後悔しないためには、事前の準備が重要！

仕事が決まったのに働けない…という状況にならないために、事前にしっかりスケジュールをたてて積極的に動きましょう。



■ 4月入所の場合 ※年度途中の入所の場合は、前月上旬に書類申請→下旬に結果通知となります

①情報収集

思い立ったらすぐにでも！

働きたいと思ったら、まずは情報収集を！各市町村の窓口や情報誌、保活セミナーなどで情報を集めましょう。

←Point! 早めに動けば動くほど後の流れがスムーズに！

②施設見学

できれば10月までに…

気になる施設の候補が決まったら、子どもと一緒に見学へ。施設の先生方とも顔見知りになっておきましょう。

←Point! 見学の際に聞きたい事は、見学前にまとめておくの良いですよ☆

③申請書類配布開始

11月上旬頃

申請書類は各市区町村の窓口や、認可保育所等で配布されています。提出方法や提出期限は必ず確認しておきましょう！

Point! 申請書類の書き方はとても重要です。特殊な事情がある場合などは、窓口で相談しながら記入を！

④入所面接

1月頃

4月利用開始の場合は、一斉面接を受ける必要があります。伝えたいことは面接でしっかりとアピールを！

Point! 質問は書類の内容に沿って行われます。経済的な状況や家庭のこと、施設の希望理由を伝えて!!

⑤入所決定

3月上旬頃

入所が決定了ら、市区町村から通知が届きます。入所前に交通経路や1日のスケジュールを考えておきましょう。

Point! 前もって職場に説明しておきたいことなど、説明会までに知りたい事があれば、直接施設に確認を！

⑥入所説明会

3月中旬～下旬頃

保育施設ごとに、説明会が行われます。入所前の準備物や毎日の持ち物、スケジュールなどの説明があります。

←Point! 縫い物や持ち物への名前書きは大変…前もって下準備を！起床のリズムも整えておきましょう。

⑦入所～慣らし保育

4月上旬

いよいよ入所！入所式のあとは、1～2週間程度の慣らし保育がスタートします。親子ともども新しい環境に慣れるまでは大変ですが、体調には気をつけて☆

Point! 焦らず子どものペースで！慣らし保育期間中の仕事のスケジュールは、会社と事前に相談を！



4月中旬～ いよいよ通常保育がスタート!!



📌 保育施設選びのポイント

施設によって特色が異なりますし、家庭の事情もさまざま。だからこそ、どの施設がよいか、自分の目で見て納得することが大切です。

保育施設はお子さんが大きく育つ大切な時期を過ごす場所。

「よい保育施設の選び方10か条」(厚生省児童家庭局保育課 H12年12月)をもとに、保育施設選びに欠かせないポイントをまとめました。



1. まずは情報収集を

保育所等の利用申請は、最寄りの市区町村が窓口になっています。まずは市区町村の窓口で申請の手順や空き状況などを聞いておきましょう。

保活セミナーや情報誌等もおすすめです。

<先輩ママの声>

新設園の情報や昨年度状況等も窓口で聞いておきましょう！すでに子どもを預けている先輩ママの情報も、とても参考になりました。



2. 事前に見学を

インターネットや情報誌等の内容だけでは、実際の様子はわかりません。気になる施設は必ず事前に子どもと一緒に見学をしておきましょう。2つ以上の施設を見学するのがおすすめです。

<先輩ママの声>

見学の際は、事前に施設に連絡を！普段の様子はもちろん、園庭開放や行事の見学もおすすめです。雨の日のことや、交通経路もチェックしましたよ。



3. 見た目だけで決めないで

施設の新鮮さや立地のよさなど、見た目の条件はもちろん重要。ただ、それだけで決めるのはおすすめできません。保育する人の配慮が行き届いているか、保育の内容などもよく見た上で決めましょう。

<先輩ママの声>

つつい親の目線で選んでしまいがちですが、「子どもが長時間過ごしやすい環境か」ということが一番！迷ったら、子どもの目線で考えると良いですよ(^ ^)



4. 部屋の中まで入って見て

見学の際は、可能な限り保育室の中まで見せてもらうようにしましょう。特別な事情が無いのに保育室を見せてくれない施設は、何か見せたくない事情があると思った方が良いでしょう。

<先輩ママの声>

送迎の時間やお昼寝の時間などは、保育室に入れないことも。忙しい時間帯はなるべく避け見学に行きましょう。



5. 子どもたちの様子を見て

子どもたちの表情がいきいきしているかはとても重要。良い保育が行われていれば、子どもたちの気持ちも安定し、活発になります。10分ほど保育室にいれば、子どもたちの様子がよく分かります。

<先輩ママの声>

見学の際に泣いてしまった娘。すぐに在園児さんたちが集まって、頭をなでてくれました。園の雰囲気がよく分かり、見学に行ったら本当に良かったです。



6. 保育する人の様子を見て

保育する人の人数や、保育士資格を持つ人の人数を聞いておきましょう。そのほかに、経験豊富な保育士がいるかも要チェック。保育士が余裕をもって、一人ひとりの子どもと接しているかも重要です。

<先輩ママの声>

先生の年齢や雰囲気も、施設によってさまざま。見学の際は、何でも気軽に相談をしやすい先生かどうかもチェックしていました。



7. 施設の様子を見て

赤ちゃんが静かに動き回れる場所があるか、また、十分に遊び回れる場所があるかを確認しておきましょう。

日当たりや風通しがいいか、非常時の避難手段は整っているかも見ておくと良いでしょう。

<先輩ママの声>

外遊びの頻度や、どんなことをして遊んでいるかも聞いておくと良いですよ。トイレや調理室が清潔かどうかにも要チェックです!



8. 保育の方針を聞いて

園長先生や保育士さんに、保育の方針を聞いてみましょう。どんなところに力を入れているのか、保育する上で大切にしていること等をきちんと説明してくれるかが重要です。参観の頻度や、家庭との連絡方法も聞いておきましょう。

<先輩ママの声>

毎日食べる給食もとても重要★
給食に対する考え方や、アレルギー対応の有無なども、見学の際に確認しておくことをおすすめします。



9. 預けはじめてからもチェックを

預けはじめてからは忙しくなり、ついチェックを怠ってしまいがち。預けるときやお迎えのときは、保育室の様子を見るように心がけましょう。

早く帰れる日があれば、いつもと違う時間帯の様子も見て。

<先輩ママの声>

お迎えが遅く、他のお友達がいる時間の様子がわからないので、先生の手が空いているときは、短時間でもふだんの様子を聞くようにしています。



10. 不満や疑問は率直に

保育をする人と保護者の間の信頼関係はとても大切。子どものことで気になることがあれば、施設に相談をしてみましょう。誠実に対応してくれる施設であれば、より強い信頼関係を築くことができるでしょう。

<先輩ママの声>

直接聞きづらい場合は、連絡帳などを活用するのも◎。こんなことで質問していいのかな、と始めは遠慮していましたが、先生が丁寧に対応してくれたので良かったです。



■その他のポイント

- ・お昼寝用布団の準備は必要? → 布団は大きくて持ち帰りも大変!施設によってはレンタルできる場合も!
- ・おむつは紙おむつ? 布おむつ? → 使用済みの紙おむつは持ち帰りが必要なことが大半! 布おむつはレンタルの場合も。
- ・諸費用はどれくらいかかる? → 保育料のほか、保護者会費や絵本代等の諸費用がどれくらいかかるのかも要チェック!
- ・制服や園バスはある? → 費用やバスのルート、利用可能年齢などもチェックしましょう!

🗨️ 困ったときのサポート

困ったときは、無理せずまわりに頼りましょう! ※詳細はお住まいの市区町村にお問い合わせください。

子どもが
病気になった!

病児・病後児保育

休日に
仕事が入った!

休日保育

送迎等を
誰かに頼みたい!

ファミリーサポート



発行元: きょうと子育てピアサポートセンター
マザーズジョブカフェ

発行日: 2016年11月24日



各自治体の子育て支援制度については、
センターのポータルサイトからもご覧いただけます!
<https://kyoto-kosodatepia.jp/>

